

平成 30 年度第 1 回滋賀県原子力防災専門会議 議事概要

滋賀県総合政策部防災危機管理局原子力防災室

- I 日 時 平成 30 年 10 月 31 日（水） 午前 10 時 30 分から午前 11 時 45 分まで
II 場 所 滋賀県危機管理センター 2 階 災害対策室 7
III 出席者 別添委員名簿参照
(欠席：牧委員、谷口委員、八木委員)

IV 内 容

1 開会

＜滋賀県防災危機管理監挨拶＞

原子力防災専門会議委員の皆様におかれましては、大変御多忙のところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

まず、8 月 26 日の実動訓練では、訓練評価をいただきありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

議題の 1 つ目では、今回の訓練についてご意見をいただいた件でございます。今回の訓練では避難対象地域が土砂崩れ等により孤立したことを想定したヘリによる避難訓練やエリアメールの活用など、新たな内容を盛り込んだ訓練を実施したところです。この訓練の翌週、9 月 4 日には台風 21 号が猛威を振るい、訓練想定と同様、朽木地区の一部が倒木等により道路が途絶、また停電および通信途絶が発生し、その対応のため防災ヘリにより衛星電話や発電機を急遽空輸するといったように、訓練の成果が原子力災害以外の災害にも生かされたのではないかと考えています。またその他にも様々な成果を得るとともに、今後の改善に向けた課題についても浮かび上がったのではないかと考えているところです。

今年度の実動訓練は終了しましたが、これで終わることなく、抽出した課題を皆様方と共有することにより、防災対策の不断の見直しを行い、次に繋げていくことが重要だと考えております。

また議題の 2 つ目では、今年度の滋賀県地域防災計画（原子力災害対策編）の修正について事務局案をお示しさせていただきたいと考えております。こちらも、ぜひ忌憚のない御意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後にお知らせでございますが、明日からの 2 日間、11 月 1 日、2 日で原子力災害時の対応手順を確認するという事で、主にモニタリングを含めました県職員を対象とした図上訓練を実施する予定です。万が一の原子力災害発生時

には、我々防災関係職員が迅速かつ的確な行動ができるよう、訓練の積み重ねが何よりも大切と考えているところでございますので御理解のほどよろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議におきまして、活発な御議論をいただき、有意義な会となりますようお願いしまして、開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2 議事

(1) 平成 30 年度 原子力総合防災訓練の結果について

○竹田座長代理

では、一つ目の議題であります平成 30 年度 原子力総合防災訓練の結果について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（滋賀県）

（資料 1-1、1-2、1-3 により説明）

○竹田座長代理

ただいま事務局から御説明いただいた内容につきまして、御質問、あるいは確認したい事項等ございましたら御発言をお願いいたします。

三澤先生、では、お願いします。

○三澤委員

参加された住民の方からの感想や意見はありますか。

○事務局（滋賀県）

参加された方にアンケートをお願いしておりまして、その中でヘリコプターにより避難中継所まで避難していただいた方から、このようなヘリを活用した避難の経験ができて良かったという感想をいただいております。

○三澤委員

出来れば今後は、住民の方の目線で、訓練はどうなっていたのかを見ていただけると、別の観点の意見が出るのではないかと思います。

○高橋委員

資料のとおり、汚染拡大の防止、本部や全体の役割分担とその体制の構築等について評価させていただいておりますので今後の課題として御協議いた

だければと思います。

三澤先生からのお話しのとおり、今後は訓練後の評価につきましては住民の方や参加された自治体の皆様等がどのように感じ、どう振り返りを行っておられるのかが分かるように資料をまとめていただき、それを踏まえた意見交換ができたらと思いますので、検討していただきたいと思います。

○島田委員

避難中継所運営本部での意思決定や、役割分担の話ですが、実動訓練の前日に運営本部の訓練をされ、また11月1日、2日に事務局運営訓練を予定されていると思いますが、今回の反省を踏まえ、例えば運営本部訓練の際には、実際に避難中継所のスタッフへの連絡調整および市災害対策本部から避難中継所への連絡という訓練も必要ではないかと思います。日を分けての実施になると本当の現場と運営本部との繋がりを確認する訓練が弱いのではないかと思います。今後の訓練ではその連携部分の訓練を検討していただけたらと思います。

また地域固有の課題があると思いますので、今一度、一般的な課題と地域固有の課題を抽出してはどうかと思います。訓練実施の季節も夏だけでなく、冬はどうするのか等も机上でいいので検討しておかなくてはならないのではないかと思います。台風の多い時期であったり、冬の時期であったりとそれぞれ特有の課題があります。訓練は出来なくても、地域特有の課題を事前に洗い出しておくということは、あらゆる想定に対応する時の重要事項かと思います。

県や市の職員が住民の方とのコミュニケーションする時に、伝える側として、専門用語ではなく、情報発信側がしっかりと理解したうえで簡単な言葉での説明が必要と考えますので、住民の方への講習に加えて、スタッフ側の講習も定期的に実施していただければと思います。

○遠藤委員

スクリーニングの結果は住民の方に紙か何かで配っているのですか。

○事務局（滋賀県）

スクリーニングを実施している会場では、汚染の有無についての結果を記載したものを配っています。加えて健康相談の窓口も設けており、除染の基準には達してはなかったが、少し汚染があったというような住民の方の心配や不安等についての対応もできるようにしています。

○遠藤委員

避難所、病院などでは汚染していないという証明書を持っていないと入れてもらえない、診てもらえないということがあるので、こういったものの発行は継続して実施してもらいたい。

○事務局（滋賀県）

福島事故からの教訓ということもあるので、必ず一人ひとりに対して汚染のないことを示す証明書の発行は継続して実施していきたいと思います。

○竹田座長代理

委員の皆様から貴重な御意見が出ましたので、事務局は検討をよろしくお願いいたします。

避難中継所の指揮命令系統について意見が多かったと思います。指揮命令する人が1人で全てを把握するのは大変なので、それを助けるサポート役をしっかりと付けることが必要だと感じましたので検討をよろしくお願いいたします。皆様、貴重な御意見ありがとうございました。

(2) 滋賀県地域防災計画（原子力防災対策編）の修正について

○竹田座長代理

それでは、時間もありますので、次の議題であります滋賀県地域防災計画（原子力災害対策編）の修正について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（滋賀県）

（資料2および参考により説明）

○竹田座長代理

ただいま事務局から御説明いただいた内容につきまして、御質問、それから確認事項等ございましたら御発言をお願いいたします。

○（委員からの意見はなし）

○竹田座長代理

個々の炉についてはUPZの縮小はございますが、県としての実質的なUPZの変更はないということですので特に問題はないと思われます。

(3) その他

○竹田座長代理

本日は熱心に様々な御議論、御発言ありがとうございました。特に防災訓練の結果につきましては、非常にたくさんの貴重な御意見をありがとうございます。

それでは本日はこの辺りで意見交換を終了したいと思います。予定しておりました議題はこれで終了しましたが、その他、事務局から連絡等はありませんでしょうか。

○事務局

はい、特にございません。

○竹田座長代理

はい。それでは進行を事務局にお返しをします。

3 閉会

○事務局（滋賀県）

本日は貴重な御意見、誠にありがとうございました。各委員からの貴重な御意見を今後の参考にさせていただきます。

事務局から連絡事項を申し上げます。

本日の御意見につきましては、事務局で整理をし、内容確認をした上で、県ホームページに掲載したいと思います。

それでは以上をもちまして、平成 30 年度第 1 回滋賀県原子力防災専門会議を終了させていただきます。本日は、どうもありがとうございました。